



**Meyer  
Sound**

## M2D COMPACT CURVILINEAR ARRAY



・	周波数特性	・	・	: 60Hz ~ 16kHz
・	最大SPL	・	・	: >136dBピーク @1m
・	水平指向角度	・	・	: 90°
・	パワーアンプ部	・	・	: 700W (350W/ch x 2)
・	電 源	・	・	: パワーコンロッキングACコネクター
・		・	・	自動電圧選択
・		・	・	85 - 134VAC and 165 - 264VAC
・	寸 法	・	・	: 991(W) x 307(H) x 445(D) mm
・	重 量	・	・	: 52.5kg

新しいMeyer SoundのM2Dは、コンパクトなカービリニア（曲がった）配列用につくられたもので、中規模会場においてきちんとした垂直指向パターンコントロールが必要な時に有効なスピーカです。最大12台までを縦にカービリニア配列するように設計されており、必要に応じて隣接スピーカ軸を0° ~ 7° 開けます。

1980年代の初めに、Meyer SoundのMSL-10スピーカシステムによって創始された水平方向のカービリニア配列は、台形キャビネットによって造り出すことができ、その後今日に至るまでひとつのスタンダードになっています。M2Dは、パーティカルアレイの概念を拡張して、水平方向の指向角を90° に保ったまま、吊り下げるスピーカの数とスピーカ軸開き角度を変えることにより垂直方向の指向角度を変えられるようにしました。

このシステムは、従来からのMeyer SoundのSelf-Poweredコンサートシリーズスピーカと完全に互換性があるために、システム構築が容易になります。M2Dは、Meyer Soundの特許であるREM (Ribbon Emulation Manifold) を使用しており、これは口径1.5インチ（ダイアフラム径4インチ）のMS2010Lコンプレッションドライバート、新しい90° の水平方向定指向性ホーンを組合せることにより成り立っています（アレイの垂直方向の指向角度は、アレイにしたスピーカの本数と開角度によります）。REMは、コンプレッションドライバートの出力をコントロールし、3インチの経路を経てホーンスロートに到達するようになっており、これにより歪を劇的に減少できます。この独創的なM2Dホーンにより、ひとつの大きなリボンドライバートとしての特性を維持しつつより大きなパワーをもった均質な波面をつくり出します。M2DのMid-Lowは、新しく造られた軽いネオジウムマグネットを使用した2つの10インチのコーンドライバートで構成され、コンパクトな台形のバスレフエンクロージャーにマウントされています。重要なミッドレンジの特性を滑らかにするために、UPMIに使用したものと同一ような精巧なクロスオーバーを組み込んでいます。それは、最も低い周波数帯域では、2つのドライバートが結合してパワフルな低域をつくり出し、ミッド帯域では2つのドライバートのひとつにだけクロスさせています。この巧妙な技術により、位相特性および周波数特性を最適に保ちながら、コーンドライバートが受け持つ帯域の高周波数帯で発生するドライバート間の干渉を最小にしています。

M2Dは、吊金具を取り付けた状態で、寸法991(幅) x 308(高さ) x 445(奥行) (mm)、重量が55kgです。（防滴タイプはオプション仕様となります）再生周波数帯域は60Hz ~ 16kHz、最大ピークSPLは軸上1mで136dB。

M2DとM2D-subは、Meyer Sound QuickFly リギングシステムを標準装備しており、輸送中、フライングを問わずスピーカを安全に保持し、その操作性も非常にシンプルです。キャビネットの後部コーナーにあるCamLinkと、前面の連結バーを使ってキャビネットを連結していきます。CamLinkを調整することで、スピーカ軸を必要に応じて1° ~ 7°（1° づつ調整できます）開けます。後部のCamLinkは、吊の時もグランドスタック時も同じようにスピーカ軸角度を変える役目をします。キャビネット片側のリンクがきまれば、自動的にもう一方のリンクが決まります。このシステムによるキャビネット間の連結が非常に堅固であるため、連結アレイ全体の傾きを簡単に調整できます。スピーディーなセットアップ、キャビネット間の切り離しを容易にするため、クイックリリースピンを使用しています。すべての負荷はリギングフレームにかかるようになっていて、木製のスピーカキャビネットに負荷がかかりません。

M2Dは、1chあたり350W (MOSFET出力段) のバイアンプ構成で、周波数特性および位相補正をするコントロール回路内蔵のSelf-Poweredスピーカです。Intelligent AC電源 搭載により、85V ~ 260V (50/60Hz) の電圧範囲内で自動的に適正な動作電圧選択を行います。内蔵されているピークリミッターとRMSリミッターにより、ドライバートの破損/オーバーヒートを防ぎます。

M2Dはまた、Meyer Sound社のRMS (Remote Monitoring System) 監視システムに対応しており、RMSインターフェースカードが内蔵されています。

M2DおよびM2D-Subを吊り上げたり、グランドスタックするために使用するマウンティンググリッド MG-2Dがオプションで用意されています。MG-2Dは、M3D/M3D-subのアレイの下にM2D/M2D-subアレイを連結する際にも使用できるように設計されています。最大12台のM2D（あるいは、その重量にみあM2D/M2D-subの組合せ）を吊る事ができます。



M2D CAM



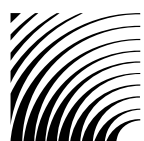
M2D LINK



M2D FLOOR



M2D RIGGING



**Meyer  
Sound**

## **M2D COMPACT CURVILINEAR ARRAY SUBWOOFER**



・	周波数特性	・	・	: 35Hz ~ 80Hz
・	最大SPL	・	・	: >139dBピーク @1m
・	パワーアンプ部	・	・	: 2250W (1125W/ch x 2)
・	電源	・	・	: パワーコンロッキングACコネクター
・	・	・	・	自動電圧選択
・	・	・	・	85 - 134VAC and 165 - 264VAC
・	寸法	・	・	: 991(W) x 613(H) x 445(D) mm
・	重量	・	・	: 79.5kg
・		・	・	
・		・	・	

2基の15インチドライバーから成るM2D-Subは、コンパクトなハイパワーサブウーファーで再生周波数帯域は35~80Hzです。M2Dと組み合わせることによりシステム全体のパワーバンドと再生帯域を35Hzに伸ばすことができます。最大ピークSPLは139dBで、構成ドライバーは新しいMS-415N。このドライバーは磁性流体により冷却、4インチのダイアフラム径、軽量ネオジウムマグネット、後面開放構造でハンドリングパワーは1200 AESワットに相当します。アンプ部は、MOSFETパワー段をもつ片チャンネルあたり1125W、トータル2250Wの出力をもち、電源はIntelligent ACを搭載しているため、電源電圧は内部自動選択(85V~260V、50/60Hz)です。内蔵されたピークリミッターとRMSリミッターにより、オーバーエクスカーションおよびオーバーヒートにならないようドライバーユニットを守ります。RMS監視システムに適合しており、RMSカードを標準装備しております。

M2DとM2D-subは、Meyer Sound QuickFly リギングシステムを標準装備しており、輸送中、フライングを問わずスピーカを安全に保持し、その操作性も非常にシンプルです。キャビネットの後部コーナーにあるCamLinkと、前面の連結バーを使ってキャビネットを連結していきます。CamLinkを調整することで、スピーカ軸を必要に応じ1° ~ 7° (1° ずつ調整できます)開けます。後部のCamLinkは、吊の時もグランドスタック時も同じようにスピーカ軸角度を変える役目をします。キャビネット片側のリンクがきまれば、自動的にもう一方のリンクが決まります。このシステムによるキャビネット間の連結が非常に堅固であるため、連結アレイ全体の傾きを簡単に調整できます。スピーディーなセットアップ、キャビネット間の切り離しを容易にするため、クイックリリースピンを使用しています。すべての負荷はリギングフレームにかかるようになっていて、木製のスピーカキャビネットに負荷がかかりません。

M2DおよびM2D-Subを吊り上げたり、グランドスタックするために使用するマウンティンググリッド MG-2Dがオプションで用意されています。MG-2Dは、M3D/M3D-subのアレイの下にM2D/M2D-subアレイを連結する際にも使用できるように設計されています(最大12台のM2Dあるいは、その重量にみあうM2D/M2D-subの組合せ)。

